

学科名	生物環境化学科・電気電子工学科・建築・デザイン学科・情報学科・経営ビジネス学科						
科目名	地域社会と情報						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	1年後期		
必修・選択の別	選択						
担当者	勝瀬 郁代						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会が抱える問題を認識できる。 ・問題解決のための、人的・組織的ネットワークの必要性に気づくことができる。 ・地域課題の解決に活用できる情報技術・情報システムの基礎知識がある。 ・共通した問題解決へ向けて、協働して取り組むことができる。 						
日程と内容	<p>第1回：導入講義、授業の進め方と概要および成績評価の仕方（講義室）</p> <p>第2回：事例別テーマを読み解く（講義室）</p> <p>第3回：事例別テーマ研究「健康維持・促進」「介護連携・業務改善」（演習室）</p> <p>第4回：事例別テーマ考察「健康維持・促進」「介護連携・業務改善」（講義室）</p> <p>第5回：事例別テーマ研究「生活支援・自立支援」「交通手段」（演習室）</p> <p>第6回：事例別テーマ考察「生活支援・自立支援」「交通手段」（講義室）</p> <p>第7回：事例別テーマ研究「子育て支援」「安心・安全・見守り」（演習室）</p> <p>第8回：事例別テーマ考察「子育て支援」「安心・安全・見守り」（講義室）</p> <p>第9回：事例別テーマ研究「防犯情報共有」「防災情報共有」（演習室）</p> <p>第10回：事例別テーマ考察「防犯情報共有」「防災情報共有」・事業提案の準備（講義室）</p> <p>第11回：事業提案書の作成（演習室）</p> <p>第12回：事業提案書の作成（演習室）</p> <p>第13回：事業提案プレゼンテーションの準備（演習室）</p> <p>第14回：事業提案発表（講義室）</p> <p>第15回：事業提案発表&まとめ（講義室）</p>						
成績評価基準	定期試験			実技			
	臨時試験			部外評価			
	報告書・レポート	60%		プレゼンテーション	40%		
	課題						
	演習			計	100%		
授業到達目標の達成度	授業到達目標達成度は合格率であるとする、88%						
反省点	最初のガイダンスで表明したとおり、知識を一方的に教員から与える授業形態ではない。自ら調べ、まとめ、他者と協働して新しい提案を考える授業である。いわゆる、アクティブラーニングである。学生がこのような授業形態に慣れていなくて戸惑ったところはあると思う。私もはじめての教養科目担当で、かつ、初めての試みだったので、試行錯誤状態だった。特に、受講者数が多かったため、毎週のレポートの本数が多く、毎週日曜日は終日レポートの採点とコメント付記に費やすハメになった。レポート出題数を減らし、その分、丁寧に添削する方向にしたい。						
来年度の計画	アクティブラーニングの方法に学生が慣れていないので、何を調べるのか、どのように書けばよいのか、などについて、もっと丁寧に手引きをするようにする。						
授業評価アンケートに対するコメント	総合評価7.1は、低くて驚いた。「アクティブラーニング形式の授業は、学生の評価が低くなる」ということは聞いてはいた。学生にしてみれば、これまで、知識は一方向的に与えられるものだったのだから、資料を読み取るといっても、読み方を丁寧に指導しなければならぬだろう。来年度は、もっと細かな手引きを心がけたい。						
履修登録者数	82名	定期試験 受験者数	77名	合格者数	68名	合格率	88%